議会だより 第62号

令和3年第1回定例会

第1回定例会が2月24日から3月12日までの17日間の会期で開催されました。

この定例会では、市長から提出された令和3年度いすみ市一般会計予算ほか21議案及び人権擁護委員候補者2名の推薦が審議され、採決の結果いずれも原案のとおり可決、承認、同意されました。また、議会に提出された陳情1件については、審議の結果、賛成少数で不採択と決定されました。

○令和3年度いすみ市一般会計予算及び各特別会計予算を可決

一般会計予算 163億7900万円
 国民健康保険特別会計予算 51億943万5千円
 介護保険特別会計予算 42億9155万1千円
 後期高齢者医療特別会計予算 6億2721万3千円
 水道事業会計予算支出総額 20億3211万2千円

○いすみ市教育委員会委員に今関由紀氏を任命することに全会一致で同意しました。
 ○人権擁護委員候補者に大久保千恵子氏及び芝崎久男氏を推薦することに全会一致で同意しました。

令和3年第1回定例会の議決結果

議案番号	件名	採決結果	議案番号	件名	採決結果
議案第1号	専決処分の承認を求めることについて	承認	議案第15号	令和2年度いすみ市水道事業会計補正予算（第4号）	可決
議案第2号	専決処分の承認を求めることについて	承認	議案第16号	令和3年度いすみ市一般会計予算	可決
議案第3号	いすみ市行政組織条例等の一部改正について	可決	議案第17号	令和3年度いすみ市国民健康保険特別会計予算	可決
議案第4号	いすみ市職員定数条例の一部改正について	可決	議案第18号	令和3年度いすみ市介護保険特別会計予算	可決
議案第5号	いすみ市地域審議会条例を廃止する条例の制定について	可決	議案第19号	令和3年度いすみ市後期高齢者医療特別会計予算	可決
議案第6号	いすみ市国民健康保険条例の一部改正について	可決	議案第20号	令和3年度いすみ市水道事業会計予算	可決
議案第7号	いすみ市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決	議案第21号	新市建設計画の変更について	可決
議案第8号	いすみ市ひとり親家庭等医療費等の助成に関する条例の一部改正について	可決	議案第22号	いすみ市教育委員会委員の任命について（今関由紀氏）	同意
議案第9号	いすみ市介護保険条例の一部改正について	可決	報告第1号	専決処分の報告について	報告
議案第10号	いすみ市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例等の一部改正について	可決	報告第2号	専決処分の報告について	報告
議案第11号	令和2年度いすみ市一般会計補正予算（第13号）	可決	諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について（大久保千恵子氏）	同意
議案第12号	令和2年度いすみ市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決	諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について（芝崎久男氏）	同意
議案第13号	令和2年度いすみ市介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決	陳情第1号	75歳以上の医療費窓口負担について原則1割負担の継続を求める陳情書	不採択
議案第14号	令和2年度いすみ市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決			

委員会

審査

報告

3月3日及び4日に各常任委員会が開催され、委員会付託された議案及び陳情を審査しました。
ここでは、令和3年度いすみ市一般会計予算における主な質疑及び答弁について掲載します。

総務常任委員会

問 須賀谷市有地産業立地可能性調査委託料の内容について伺いたい。

答 広大な土地であるため、企業のニーズ調査や立地の可能性等を含めて計画性と方向性を持った活用方針を策定するものです。

問 津波避難道路バッテリー内蔵照明整備工事の設置場所について伺いたい。

答 津波避難道路となる既存の路線に設置してある防犯灯を1灯間隔で入れ替えるとともに、新たに整備をした路線や不足している場所

について新設するもので、77箇所を計画しています。なお、入れ替えた通常の防犯灯は他の必要な場所へ再設置します。

文教厚生常任委員会

問 福祉タクシー事業助成金について、1シートが1,100円から1,300円に拡充される理由について伺いたい。

答 コロナ禍での利用者の負担軽減を図ること。また、タクシー利用者が減少していることから、利用者及びタクシー事業者の双方を支援することを目的に拡充するものです。

問 妊産婦健康診査交通費助成金について、交付はどのように行うのか。また、助成額の内訳について伺いたい。

答 交付方法は、産後1か月健診後に申請してもらい、一括して交付します。また、助成額の内訳は、妊婦一般健康診査14回と産後受診した産婦健康診査1回を限度に、1回の受診につき往復交通費を2,000円として、15回分で3万円を助成します。

産業建設常任委員会

問 農業共済加入支援補助金について、現在の対象品目の加入率及び新規加入者をどのくらい見込んでいるのか伺いたい。

答 現在の加入率については、水稲が64%、畜産が80%、園芸施設共済が64%及び果樹共済が90%となっています。また、新規加入者については全体で10%程度の増加を見込んでいます。

問 木質バイオマス活用事業補助金について、家庭用薪ストーブが設置される住宅について、新築と改築の割合はどちらが多いか。また、設置希望は移住されてくる方に多いことから、移住担当課との連携は図られているか伺いたい。

答 新築と改築の割合は、それぞれ約50%となっています。また、今までも移住担当課と連携を図ってきたところですが、補助事業の実施に当たっては、今後より一層の連携を推進していきます。

Q&A 一般質問 市政をきく

第1回定例会の一般質問は、2月26日に7名の議員から市政に関する諸問題についての質問があり、活発な議論が展開されました。ここでは、紙面の関係で主な質問及び答弁の一部を掲載します。

なお、一般質問及び議案審議状況等の会議録をご覧になりたい方は、いすみ市のホームページ又は夷隅文化会館、大原文化センターの各図書室及び岬ふれあい会館の図書コーナーで閲覧することができます。

高森 和久 議員	夢のある誰でも行きたくなる公園の整備／デジタル市役所化に向けた取組／新型コロナウイルス感染症に関するPCR検査支援
山口 朋子 議員	市民に対する新型コロナワクチン接種の進め方
元吉 栄一 議員	ヤングケアラー問題／狭くすれ違いができない道路の補修
井上ひろみ 議員	新型コロナウイルス感染症対策／教員の働き方改革／小学校における少人数学級
田井 秀明 議員	新型コロナウイルス感染症から命を守り、人権を尊重するまち宣言／新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、市の健康診断や医療機関への受診控え／職員の採用
太田 雅彦 議員	市内小・中学校におけるICTの活用／市内小学校におけるデジタル教科書の活用
大曾根信太郎 議員	鳥インフルエンザ／カーブミラーの安全性保持／大原海水浴場周辺地域の観光拠点としての整備・活用

夢のある誰でも行き
たくなる公園の整備

高森和久議員

答 周辺の事例や動
向を注視していく

高森議員 屋根付きの公園広
場を設置して欲しいとの要
望を市民から多数いただ
いているが、整備する考え
はないか伺いたい。

建設課長 屋根付きの公園広
場は、雨の日や夏の日差
しの強い日でも楽しめ、そ
して一時的な避難所として
有効な施設と考えます。

いすみ市都市公園条例に
は公園施設の設置基準が
あり、これは都市公園とは
本来、屋外における休息、
運動等のレクリエーション
活動を行う場所であり、
また、地震等災害時にお
ける避難地としての機能
を目的とする施設である
ことから、原則として建
築物に侵されない空間
広場を確保するため、
建ぺい率の制限があり
ます。

このことから大きな屋根

を設置するには、大きな公
園面積が必要となります。

また、現在既存の大きな
公園ではドクターヘリの臨
時離着陸場にもなってい
ます。

市ではこれらの厳しい条
件などを考えますと、既存
の公園への設置はかなり難
しいと考えます。

今後市民の皆様の要望
に耳を傾けながら、遊具の
更新とバリアフリー化を進
めながら、周辺の事例や動
向を注視していきたいと考
えます。

市民に対する新型コ
ロナワクチン接種の
進め方

山口朋子議員

答 市民に等しく接
種ができる体制を医
師会とも協議しなが
ら調整していく

山口議員 ワクチン接種の実
施体制及び場所をどのよう
に考えているか。また高齢
者施設などへ出向いての接
種を考えているか伺いたい。

健康高齢者支援課長

接種に
ついては集団接種で、会場
は夷隅文化会館、岬ふれあ
い会館及び医師会診療所で
計画しています。

高齢者施設での接種につ
いては、国から季節性イン
フルエンザ予防接種と同様
の接種計画を施設ごとに立
てるよう通達が出ています
が、市としても市民に等し
く接種ができる体制を医師
会とも協議しながら調整し
ていきたいと考えています。

ヤングケアラー問題

元吉栄二議員

答 現在、要保護児
童対策地域協議会
が中心となり、見
守りが必要な児童
の支援を継続的に
実施している

元吉議員 該当する子どもが
いた場合、市はどのような
対応を行うのか伺いたい。
福祉課長 現在、要保護児
童対策地域協議会が中心
となり、見守りが必要な

児童の支援を継続的に実
施しており、このなかには
ヤングケアラーに該当
すると思われる事例も見
受けられます。

本協議会においては、
行政、教育委員会、学校、
児童相談所、保健所、地
域生活支援センターなど
協議会のメンバーや援助
団体が連携し情報を共有
しながら、子どもの支援
を第一に、心のケアや支
援サービスの提供など心
身及び経済的な負担軽減
に取り組んでいます。

また、中学校において
は、スクールカウンセラー
による個別相談や、生徒
指導部会が中心となり、
対象生徒を含めた学級や
部活動など集団全体での
見守りと教員間での情報
共有を行い、学級担任は
対象者に寄り添い、学年
ごとに複数の教員がサ
ポートするなど体制を強
化し、関係機関と連携・
協力して支援にあたるこ
ととしています。

新型コロナウイルス
感染症対策

井上ひろみ議員

答 気軽に相談でき
る環境づくりと、
各種相談窓口や生
活困窮に関する相
談事業所などと連
携し、生活弱者の
支援と救済に努め
ていく

井上議員 生活保護が必要な
人がためらわずに申請でき
るような環境を整備する必
要があると思うが、市とし
てはどのように考えている
か伺いたい。

福祉課長 昨今のコロナ禍に
おいて、生活保護制度が
セーフティネットの一段
としてクローズアップされ
るなか、国では、生活保護
の申請は国民の権利であ
り、生活保護を必要とする
可能性は誰にでもあること
から、ためらわずに相談す
るよう、厚生労働省のホー
ムページ等で制度紹介して
います。
市においても保護制度の

周知を図り、気軽に相談できる環境づくりと、各種相談窓口や生活困窮に関する相談事業などと連携し、生活弱者の支援と救済に努めていきます。

併せて、生活保護に至らない段階での更なる支援の充実とすみやかな対応に取り組んでいきます。

新型コロナウイルス感染症から命を守り、人権を尊重するまち宣言

田井秀明議員

答 差別、偏見、いじめなどを受けているとの報告・相談は、今まで市の方で受けたことはない

田井議員 「新型コロナウイルス感染症から命を守り、人権を尊重するまち宣言」を市と市議会が連名で発出したが、これまでに感染者やその家族、さらに医療・介護従事者に対し、差別、偏見、いじめなど人権を損なうような事案が発生していないか伺いたい。

健康高齢者支援課長 8月20

日に市と市議会の連名で、人権を尊重するまち宣言を發出し、発出後、市内においては、44名の感染者情報

市内小・中学校におけるICTの活用

太田雅彦議員

答 ICT機器の利点を効果的に活用し、児童生徒の資質・能力の向上をさらに図っていく

太田議員 現在、ICT環境の整備を進めているが、今後どのように活用していくか伺いたい。

学校教育課長 いすみ市教育委員会では、いすみ市における教育の情報化ビジョンを策定し、重点項目に基づいてICTを活用した児童生徒の資質・能力の向上を目指しています。

また、次年度よりパソコン

ン端末や周辺機器、各種ソフト、デジタル教科書を効果的に活用できるように、情報教育重点校を小学校、中学校の中から1校ずつ指定するとともに、ICT支援員を配置し、教職員の授業におけるICT活用の支援と計画的なスキルの向上を図ります。

今後、ICT機器の利点を効果的に活用し、児童生徒の資質・能力の向上をさらに図っていきます。

鳥インフルエンザ

大曾根信太郎議員

答 徹底した再発防止に努めるよう県と同一歩調をとっていききたいと考える

大曾根議員 感染源も経路も不明ということだが、今後施設再開の申し出があった場合、市としてどう考えているか伺いたい。

市長 昨年12月及び本年1月に、いすみ市の養鶏場で発生した高病原性鳥インフルエンザは、県の懸命な努力

によって埋却処理は終了し、現在、移動制限区域等の解除に向けて新たな感染がないか監視している段階です。

今後、施設の再開にあたりましては、県は家畜伝染病予防法に基づき、農場内の清浄性を確認するためのモニターの鶏を導入し、日々の臨床検査やウイルス分離検査・血清抗体検査等を実施することとされています。

さらに、再発に備え農場内での埋却のための土地の確保についても県が指導するものとされています。

再開の許認可については県の判断となり、これらを踏まえ総合的に検討するものと思われ、市としては、地元が不安にならないよう県と連携を取りながら対処していきたいと考えます。

第2回定例会日程(予定)

6月8日(火)10時	開会
10日(木)10時	議案の上程
15日(火)10時	一般質問
16日(水)9時	議案審議
17日(木)9時	委員会
25日(金)10時	委員長報告 議案審議 閉会

議会の傍聴自粛のお願い

議会の傍聴については、市民の皆様のご健康と安全を最優先に考え、新型コロナウイルス感染症対策による感染拡大防止の観点から、感染の影響が終息するまでの間、控えていただきますようお願いいたします。

編集後記

令和3年第1回定例会において、議会だより編集委員の改選が行われ、私たちが編集委員になりました。

市民の皆様に見やすくわかりやすい「議会だより」となるように心掛け、編集を進めてまいります。

ご意見、ご提言がありましたらお聞かせください。

- 委員長 黒須美智雄
- 副委員長 太田雅彦
- 委員 魚地展弘
- 委員 久我 司

編集 議会だより編集委員会

☎0470-6211406

ホームページアドレス

http://www.city.isumi.lg.jp/

メールアドレス

gikai@city.isumi.lg.jp